



九月二日（火）午前十時より小倉事業所にて第四回の座談会が開かれました。出席者は小倉事業所のボランティアの高田雄三氏、瀬戸弘氏、永渕寛氏、八幡事業所のボランティアの加

## ボランティアさんを囲んだ 座談会を開催して 多くの提言を受ける

第四回「さわやか」座談会

小倉事業所のボランティアさん二名、八幡事業所のボランティアさん一名と事務局を含め八名が参加しました。今回の座談会は、八月より、送迎料を改定して一ヶ月たち、ボランティアさんの声や、利用者の声を聞きたいと思ひ、企画しました。

峯東樹氏、江頭博幸氏の五名と事務局より山田理事長はじめ、梶原・高原両事務局員の合計八名でした。

### 新料金体制となつて

座談会は「新料金体制になつて」を議題とし、料金を改正して約一ヶ月、ボランティアさんの心境や利用者の方からの声などを聞き、今後の移送事業にプラスにしていきたいという趣旨で行われました。

どのボランティアさんからも、利用者さんからの利用料の金額に対しての不満の声は聞かれないとの発言がありました。ある利用者の方から、料金が上がったのなら、送迎

の途中に銀行やコンビニなどに寄ってもらいたい...との声があつたそうです。基本的に現在は「さわやか」の送迎では、寄り道は禁止となつています。（利用者用引書参照）

### 利用者の方との距離が離れていくような

あるボランティアさんは、「利用者の方からの一回の送迎料が千円に上がり、営利目的で送迎をしている様でボランティア精神が無くなつて来るような気がします。このような気持ちで送迎をしていると、利用者の方との会話も減少し、利用者の方との距離が離れて行くようです」と言っておられました。どのボランティアさんも皆、同じ気持ちではないでしょうか。

### 少しは助かるかな？

また、その方は、「身勝手なようですが、私も年金生活を送っており、昨今の物価の上昇とガソリン等の急騰には私生活を圧迫する状況です。少しは助かるかな？患者さんには大変申し訳ない気持ちです。」とも言われていました。「さわやか」の原点は利用者の方が通院にかかる負担軽減



を目的とし、「患者が患者を助ける」のスローガンをかけボランティア活動を始めました。

十数年経つた今、道路運送法第七十九条の「福祉有償運送」の規制を受け、ボランティアさんに多大なる負担をかけるようになりました。

### 「さわやか」の趣旨に賛同できない

「今の『さわやか』さんの趣旨に賛同できません、事務局の方々が悪いのではありません。事は重々分かってはいます。」と言つて「さわやか」を去つて行かれたボランティアさんが多くおられます。事務局もボランティアさんと同じ気持ちです。しかし、法律に違反する訳にはいきません。この気持ちを心のすみっ

こにおいといて、これからの「さわやか」をどのように運営していくかの話となりました。まずの課題はガソリン、諸物価の上昇により今回の利用料の改正となりました。料金についてはまだ改良を要する所がある事を指摘され、事務局の宿題となりました。次にボランティアさんの補充です。

現在、「さわやか」のボランティア不足は危機的状況に陥つています。早急に北九州市の市報「市政だより」に募集の掲載をお願いしようと思つています。

### 枠を広げて外出支援のニーズに応えていかなければ

利用者の方ニーズが今までは通院のみであつたのが、このところ、他の要望も数多く出てきています。

「さわやか」もこれからは、枠を広げて外出支援のニーズに応えていかねばならないと思ひます。日頃ボランティアさんとゆつくりと話す機会がないので、今日はいろいろと意見、ご指摘を受け勉強になりました。

ボランティアの皆様方にはこれからも、変わらぬ協力をお願いして十二時に閉会となりました。





## 福祉有償運送の実施に係る 実地調査が行われる

八月十九日(火)に北九州市保健福祉局のちをつなくネットワーク推進課から、福祉有償運送の送迎実態の把握のための実地調査がありました。

調査には、同課の柴田真行氏が来られ、十三時から十六時まで八幡事業所と小倉事業所で、それぞれ行なわれました。

調査内容としては、  
(一) 乗務運行記録の記載  
内容

(二) 点検整備記録の記載  
内容

(三) 事故、苦情等の対応

(四) 送迎時のガイドライ  
ンの遵守(ステッカー  
貼付など)

(五) 運転者名簿、利用者  
名簿の確認

(六) 料金設定の確認

(七) 料金授受の方式  
などがありました。

八幡、小倉両事業所の何れも問題なく調査は終了しました。

## 第33回 ボランティア研修交流会 (バスハイク)

### 開催のお知らせ

日程 11月16日(日)

場所 味の素九州工場見学  
古湯温泉にて昼食  
フルーツ狩り

を予定しています。

参加費 5000円

車中で、江頭相談役による研修会が行われます。

詳細は、後日お知らせ致します。  
皆様の参加をお待ちしています。

## 北斗七星

### ★ ロマンチックな気分 ★ 『天の北斗七星のひしやくが水をくむ』

正式な星座ではありませんが、おおぐま座の尻尾にあたる大変わかりやすい七つの星、それが北斗七星です。

ひしやくの先の二つの星を結びその長さを五倍延長することにより北極星を見つけることができる大切な「指極星」です。

ひしやくの柄の先から二番目の二等星、ミザールは、そのすぐそばにアルコルという五等星を従えており、古くから肉眼でわかる二重星として知られています。

この北斗七星は北の空で大変に目立つため、世界各地で様々な姿にたとえられていました。中国では天帝が乗る牛車、北米のインディアンはギリシャと同じく



水平線



地図では、この辺りです

「関門地区から若松北海岸宗像市・さつき松原までと、宗像大島北側の海岸」に限られると云うことです。

大島では、北斗七星の動きを注意深く観察すると、秋の夜半にはその一部が水平線に隠れるようになります。

この姿が「天の北斗七星のひしやくが水を汲む」ように見えるわけです。

観察日時は、九月は午後十時から深夜〇時前後、十月は午後九時から午後十一時前となっております。

(インターネットより)  
世界中で、ここで見ることができない、なんとロマンチックですね、皆様もぜひ、観察されてみてはいかがでしょうか...

## 編集後記

朝、夕と過ごしやす季節となりました。秋ですね。今年も「さわやか」恒例のバスハイクの時期がやってまいりました。今年も、十一月に行います。事務局は、今から皆さんが、どうしたら楽しんでもいただけるか? 悪戦苦闘しながら考え中です。

何かいい案がありましたら、教えてください。(T)

